

2021年度ICT経営塾

講演会のご案内 (in木曾)

日時 2021年12月2日(木)

受付 12:30～、講演 13:10～15:30

第一部 ICTセミナー 13:10～

第二部 特別講演 14:00～

会場 木曾町文化交流センター

2F多目的ホール

(木曾郡木曾町福島5129番地)

講演 会場+ライブ配信

第一部 ICTセミナー (仮題)「ICTで地域とともに」
NTT東日本長野支店 副支店長 棚橋裕弥氏

第二部 特別講演 門田 隆将氏

特別講演 演題

「日本は中国の脅威とどう対峙すべきか」

共催:(一社)木曾法人会

(公財)日本電信電話ユーザ協会木曾地区協会

後援:長野県商工会連合会木曾支部

一般社団法人木曾法人会および公益財団法人日本電信電話ユーザ協会木曾地区協会では、このたび第63回ブルーリボン作品賞「Fukushima50」の原作者で作家・ジャーナリストの門田 隆将 氏をお招きして講演会を開催いたします。新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員に限りがありますが、ライブ配信も行います。皆様のお申込みをお待ちしております。

定員 | 会場:先着50名、ライブ配信:先着50ヶ所

お申込み締切 | 11月19日(金)まで

お申込み方法 | 裏面の申込書でお申込み下さい。

参加費 | ユーザ協会・木曾法人会・商工会 会員:無料
一般:3,300円(税込)/事業所

その他 | ライブ配信を含め講演の録画・録音、会場内での写真撮影は固くお断りいたします。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



作家・ジャーナリスト 門田 隆将氏
かどた りゅうしょう

【プロフィール】

1983年、中央大学法学部政治学科卒。
作家・ジャーナリスト。高知県生まれ。
大学卒業後、新潮社に入社。週刊新潮時代は、特集班デスクとして18年間にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなど、さまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。独立後、「毅然と生きた日本人像」をテーマに、幅広い分野で著作を発表。
『甲子園への遺言 ～伝説の打撃手高島導宏の生涯～』(講談社文庫)、『なぜ君は絶望と闘えたのか～本村洋の3300日～』(新潮文庫)、『死の淵を見た男～吉田昌郎と福島第一原発～』(角川文庫)、『太平洋戦争 最後の証言』シリーズ(小学館)、『オウム死刑囚 魂の遍歴』(PHP研究所)、『疫病2020』(産経新聞出版)等多数。『この命、義に捧ぐ～台湾を救った陸軍中将根本博の奇跡～』(角川文庫)で第19回山本七平賞受賞。最新刊は新たな形の全体主義に警鐘を鳴らした『新・階級闘争論』(WAC) また、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」にも出演中。

尚、新型コロナウイルスの感染再拡大等状況によっては、運営方法が変更になる場合があります。

◇お問合せ先◇ (公財)日本電信電話ユーザ協会 木曾地区協会事務局 中埜(なかの)

TEL 0263-28-2811 送信先 FAX 0263-24-2997

URL : <https://www.pi.jtua.or.jp/nagano/> E-mail : users@jtua.or.jp